

## 10/19 夕暮れ時の事故防止につながるため 宇和島署・愛南署合同交通茶屋を実施



愛媛  
CATV  
動画



▲ドライバーの方々に温かい声掛けをしながら啓発グッズを手渡す交通安全協会の会員

1年の中で10月から12月にかけて重大事故の発生確率が高く、特に夕暮れ時の事故が多い状況を踏まえ、愛媛県警では10月20日から11月30日までの期間を特別対策「夕暮れセーフティ」として、早めのライト点灯や歩行者の反射材着用を呼びかける取り組みを実施しました。

10月19日(木)には、須ノ川公園近くの国道56号で「宇和島署・愛南署合同交通茶屋」が行われ、両市町から警察署員や交通安全協会の会員など18人が参加し、愛南町に向かうドライバーへチラシや反射材など啓発グッズを手渡しました。

ドライバーも歩行者も事故を起こさない・遭わないための対策を万全にし、より一層交通安全を意識して交通事故の発生をなくしましょう。

## 10/23 生徒たちの輝かしい未来に期待を込めて 高砂熱学工業株式会社 小島和人社長による講演会



▲高校生たちに講話を行う小島和人代表取締役社長  
【高砂熱学工業株式会社とは】  
東京ドーム、六本木ヒルズなど多くのランドマークの空調設備に携わっています。

高砂熱学工業株式会社の小島和人代表取締役社長が母校である城辺中学校と南宇和高校を訪れ、講話を行いました。岩水出身の小島社長は、入社後、技術者として数々の経験を積み上げ、現在は会社の代表として創業100周年を迎える同社を牽引しています。

『愛南町と環境について』の演題の下、高砂熱学工業の会社の歴史や培ってきた技術、空調設備が環境に与える影響、環境クリエイターとしてご自身や会社が社会に対してできることなどの講話があり、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。

講話の後半には質疑応答の時間も設けられ、生徒は多くの質問を投げかけていました。

## 10/25 もうすぐピカピカ1年生! モンベル製通学カバン『わんパック』贈呈式



愛媛  
CATV  
動画



▲なーし君のマークもプリントされた新品のランドセルを背負ってご機嫌の園児たち

モンベル製通学カバン『わんパック』の贈呈式が、10月25日(水)にあいなん幼稚園で行われました。

今年度から新設された愛南町ランドセル無償配布事業は、次年度に町内の小学校へ入学予定の児童に対しランドセルを無償で配布することにより保護者の教育費負担の軽減を目的とするもので、対象者のうち9割が配布を希望しました。

ブルグリーン、ブラウン、ワインレッドの3色から選べる『わんパック』は、水濡れに強い軽量素材となっており、学習用タブレットもすっぽりと収まる子どもたちに優しい設計になっています。清水雅文町長から『わんパック』を受け取った7人の園児たちは満面の笑みでさっそく通学カバンを背負い、入学への期待感を見せました。

10/27 愛南の美しい海で交流を深める  
船越小・福浦小合同磯釣り体験



▲魚がヒットすると手応えを感じながらリールを回し、見事釣り上げると弾ける笑顔を見せました

心地よい海風が吹き抜ける中、船越小学校と福浦小学校による交流学习の一環として磯釣り体験が行われました。

船越小12人、福浦小10人の児童が参加した磯釣り体験は、あづまや渡船の和田昌則<sup>まさのり</sup>さんの協力により福浦湾内の一文字防波堤で行われました。日頃から釣りをしている児童や初めてという児童などさまざまでしたが、交流しながら釣りを存分に楽しんだ児童は、「大勢でする釣りは初めてでとても楽しかったです。釣った魚を家族で食べるのもとても楽しみ」と感想を話しました。

毎年渡船を出してくださいと和<sup>まさのり</sup>田さんをはじめ、釣りの様子を見に漁船で立ち寄る漁師さんもあり、小学生同士だけでなく地域との交流の大切さも感じた磯釣り体験となりました。

11/2 ハマスイと南宇和高校生のコラボ商品「愛南ゴールド真鯛」  
ふるさと納税返礼品グランプリで金賞受賞を報告



▲左から清水雅文町長、浅野希央さん、稲田若菜さん、濱田嘉之社長

生活情報誌『ESSE』<sup>エッセ</sup>が毎年開催している「ESSEふるさとグランプリ2023」の魚介・水産加工品部門で、有限会社ハマスイと南宇和高校生が開発した「愛南ゴールド真鯛」が見事金賞3品のうちの1品に選ばれました。11月2日(木)には、ハマスイの濱田嘉之<sup>よしゆき</sup>社長と南宇和高校地域振興研究部の部員2人が受賞報告のために町長を訪問しました。

この商品は、ハマスイの持つ特許技術により血抜き処理を行った養殖真鯛に南宇和高校生が育てた愛南ゴールドの果汁が加えられています。魚特有の臭みは抑えられ、代わりに<sup>かんきつ</sup>柑橘の爽やかな風味が広がります。

試食した清水雅文町長も「他では食べることでできない、愛南だからこそ味わえる品だ」と絶賛しました。

11/8 令和5年度愛媛県総合畜産共進会  
池田牧場で育った2頭が優秀な成績を収めました



▲若雌第3区の部で一等賞を受賞した「はるふく2」

西予市野村畜産総合振興センターで「令和5年度愛媛県総合畜産共進会」が開催されました。総合畜産共進会は、家畜の改良と飼養技術を通じた健全な畜産振興を目的として行われています。

この度、広見地区で畜産を営む池田一成<sup>かずなり</sup>さんが若雌第3区の部に出品した「はるふく2」が一等賞、経産牛の部では「さつきれもんはく」が一等賞に選ばれ優秀な成績を収めました。今回の共進会について池田さんは「厳しい畜産経営が強いられている中、2部門に入賞する事ができ励みになりました。今後とも改良を進め優良畜産物を生産していきたい」と述べました。

救助工作車運用技術錬成会を実施

救助工作車の運用開始を前に、救助技術の向上と隊員の教育を兼ねた技術錬成会が10月25日(水)に実施されました。

町消防本部で実施された訓練では第2小隊が高所から地上への救出、第1小隊が交通事故により横転した車内に閉じ込められた運転手の救出という2つの想定で訓練を行いました。

9月末に更新された救助工作車には多種多様な災害に対応するため120点を超える救助用資機材が搭載されており、交通事故救助想定で使用された油圧式救助用資機材は、今回の更新で油圧能力が大幅に向上しました。また、バッテリー式になり油圧ホースが不要となったことから現場での機動性が上がることも救出にあたる隊員の数を減らすことができ、よりスピーディな救助活動の展開が可能となりました。

更新した救助工作車は11月から運用を開始しており、今後も町民の安全・安心を守るため訓練に励み、さらなる救助活動の強化・充実を図っていきます。



愛媛CATV動画

地域おこし協力隊 活動日記

「愛南町の地域おこし協力隊になれて本当に良かったです!!」

こんにちは。商工観光課地域おこし協力隊の関根麻里です。協力隊の卒業が1月末なので最後の活動日記です。

2021年に東京から移住し新型コロナによる活動制限の中でのスタートでした。面白そうなことはやってみたい!外から来たからこそ気付く愛南町の魅力は何かを考え、まずはできることから動きだしました。ゆらり内海でのカレー販売から始まり、郷土料理の動画撮影、キッチンカー販売、愛南YOASOBIマップ作成や公民館で料理教室、婦人会活動参加、SNS発信や町内外のイベント参加など楽しみながら走り抜けました。市場食堂や山出温泉での現場研修では、接客の楽しさと食材の豊富さを実感しました。

やってみたいことは前例のないことが多く、役場の中でも外でもいろんな活動で知り合った方たちがアドバイスや応援をしてくれました。私自身の力というよりは人に恵まれて、自分の周りに助けてくれるたくさんの人たちがいたからこそ活動がスムーズになり、さらに充実していきました。



これからは、飲食店をすぐに自分で開業するという目標は軌道修正をして、食に関わりながら、卒業後も大好きになった愛南町で生きていくためにいろんな仕事を組み合わせながら働いていこうと考えています。1人ではできないことはチームで地域を盛り上げていけるように暮らしていきたいです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。3年間ありがとうございました。